

資料1 卒業生からのメッセージ

《読むきっかけ作り》

- ①ブックトークを聞いてからふだん読まないような本も読んでみるようになりました。読んでみると意外におもしろい本があったりします。
- ②ぼくは本を読むのがきらいなのですが、ブックトークを聞くとつい読みたくなってしまいます。
- ③…多くの本に出会えました。ブックトークは難しいのにわかりやすく、楽しませてくれてすごいと思います。おもしろそうな本を紹介してくれるので厚い本も読もうかなと思って、読めるようになりました。
- ④先生のブックトークやリテラチャー・サークルでいろいろな本を読むきっかけになりました。私が長い本を読めるようになったのはブックトークのおかげです。

《楽しい・興味の広がり・新しい世界》

- ⑤聞いていると石橋先生の本の世界に入っているみたいで続きが見たくなるブックトークです。今はファンタジーの本をよく読んでいるのですが、今回のブックトークでファンタジー以外の人の生き方について興味をもち、読んでみたいと思いました。中略 今回のブックトークで新しい興味をもちました。
- ⑥石橋先生のブックトークは毎回テーマがあり、そのテーマに合ったおもしろい本が多くてすごく楽しく、おもしろい授業になっていて「今日はブックトーク」と先生が言う時はいつもうれしかったです。
- ⑦今まで何回ブックトークしていただいたか数えきれません。その度に僕はたくさんの本と触れ合い、多くのことを学んできました。知らなかった本を讀んでみるとまた自分の中の新しい世界が開かれたような気がしました。改めて本の楽しさを実感できたと感謝しています。
- ⑧特に一番心に残っているのが「若冲」の本を紹介してもらった時です。私は絵をかくのが好きなので、若冲のことに興味をもちました。子どものころに実物を見て、象をかいたというところがすごいです。
- ⑨ブックトークのおかげでだれが書いた本なのかも気になるようになりました。

《授業に役立つ》

- ⑩先生が紹介してくれる本は全部読んでいます。総合等の授業のテーマにそって本を選んでくれて、授業への関心も高まり、とても勉強になります。

《人生観に触れる》

- ⑪先生と生徒ではなく、先生が友だちのように自分の体験や本を読んだ時の感想を聞かせてくれて楽しかったです。自分が初めて4年生にブックトークをした時、思うように反応してくれなかったり、本を読んでくれたかと心配したり、感想が気になったりしました。私もいろんな本と出会い、本の内容だけでなく、著者の方のこととか本に関わるいろいろなことにも興味をもっていきたいです。もうすぐ5年生へのブックトークがあります。5年生が楽しんで読んでみたいと思えるブックトークをしたいです。

⑫石橋先生のブックトークを聞くことで石橋先生の人生を知ることができ、改めてどんな人にも人生があるのだなと感じることができました。

資料2 ワークシートの工夫

「あの人に会いたい・この人に会ったよ」

月 日() 6年 組()

書名	作者	出版社	読み終えた日
①『インカの村に生きる』	関野吉晴 作	ほるぷ出版	/
②『星野道夫 アラスカのいのちを撮りつづけて』	国松俊英 著	PHP 研究所	/
③『あきらめないこと、それが冒険だ エベレストに登るのも冒険、ゴミ拾いも冒険!』	野口健 著	学研	/
④『ローザ』	ニッキ・ジョヴァンニ 作	光村教育図書	/
⑤『暗やみの中のきらめき 点字をつくったルイ・ブライユ』	マイヤリーサ・デ ィークマン著	汐文社	/
⑥『心のおくりびと 東日本大震災 復元納棺師 ～思い出が動き出す日～』	今西乃子著 浜田一男写真	金の星社	/
⑦『五体不満足』	乙武洋匡 著	講談社	/
⑧『かぎりなくやさしい花々』	星野富弘 著	偕成社	/

一番心に残った本 書名『 』

《感想》 次のようなことを考えて書いてください。(4つすべてにこたえる必要はありません。)

- ・どんなところが心に残りましたか。
- ・その人の生き方についてどう思いますか。
- ・特に印象に残った文章や言葉はありますか。
- ・これからのあなたの生き方の参考になる人はいましたか。

資料3 「たのしいね、1ねんせい」

	書名	作者	出版社
1	がっこうだってどきどきしてる	アダム・レックス	WAVE 出版

2	1ねん1くみの1にち	川島敏生	アリス館
3	えらいこっちゃんのいちねんせい	かさいまり	アリス館

資料4 「だれのしっぽかな」

1. 対象 2・3年生 国語 25分
2. ねらい 絵本から読み物へ移行させることを目的に楽しく読める幼年文学を紹介する。文字数が多いことへの抵抗感がある子のために友達と一緒に読み進める形をとる。その本決めのためのブックトークである。
3. 展開

紹介する本・キャッチコピー	ブックトークの展開・ポイント
<p>①『こぶたのレーズン』 バーリント・アグネシュ さく ブローディ・ベラ え うちかわかずみ やく 偕成社</p> <p>干し葡萄みたいなこぶた</p>	<p>今日は「みんなで読むと楽しいよ」という勉強のためのブックトークをします。7冊の本を紹介するので、どれか1冊、読みたい本を選んでね。</p> <p>テーマは「だれのしっぽかな」です。いろいろなしっぽが登場するから当ててね。</p> <p>最初はこちら。(P.68 レーズンのしっぽの部分の絵を掲示)こぶたのしっぽです。(P.5から適宜読み聞かせてマノーとレーズンの出会いを紹介)可愛い目をした緑色のこぶたと働き者の小人のマノーの楽しいお話です。</p>
<p>②『さいこうのスパイス』 亀岡亜希子 作 PHP 研究所</p> <p>美味しい料理を作る オオカミのシェフ</p>	<p>次のしっぽはこれ。(P.9のシェフの絵でしっぽだけ見えるようにする)何を食べてもおいしいと思えないリスのぼうやのお話です。ぼうやのために腕をふるうオオカミのシェフですが、何を作ってもおいしいとは言ってくれません。さて…</p>
<p>③『ポリーとはらぺこおおかみ』 キャサリン・ストー 作 掛川恭子 訳 岩波書店</p> <p>留守番をしているポリーを食べようとする</p>	<p>これはだれのしっぽ？(表紙の絵を掲示)かしこいポリーとまぬけなオオカミの話です。何とかしてポリーを食べたいオオカミは知恵を絞りますが。(最初の章のあらすじ紹介。)『赤ずきん』や『3びきのこぶた』の話も出てきます。</p>
<p>④『わたしおてつだいねこ』 竹下文子 作 鈴木まもる 絵 金の星社</p> <p>しゃけを焼くのが得意(?)な猫</p>	<p>これはだれかな。(P.8の絵を掲示)「ああ、忙しい、忙しい。猫の手も借りたい位だわ。」久しぶりに晴れた朝、おばさんが独り言を言ったらピンポン。縞々猫が「私、お手伝いさんです。今日からここのおうちで働かせていただきます。」とやっていたのです、猫が。(絵を見せながらあらすじ紹介)</p>
<p>⑤『かわいいこねこを もらってください』 なりゆきわかこ 作</p>	<p>これは?(表紙の絵を掲示)そう、これも可愛い猫の話です。(最初から絵を見せながら読み聞かせる。P8まで。)拾ってきた子猫を自分の家で飼うことができないいちちゃんは代わ</p>

<p>垂石眞子 絵 ポプラ社</p> <p>ちい、ちいと鳴く子猫を拾ったちいちゃん</p> <p>⑥『しっぽ！』 リスみたいなしっぽ 竹下文子 作 永野ともこ 絵 学研</p> <p>⑦『かあさんのしっぽっぽ』 村中季衣 作 藤原ヒロコ 絵 BL 出版</p> <p>怖い顔のお母さん→キツネ？</p>	<p>りに飼ってくれる人を必死に探します。でも学校では「猫馬鹿」「猫中毒」と悪口を言われ、大家さんからは苦情を言われ… (あらすじ紹介)</p> <p>さてこれは?(表紙のしっぽだけ見せる)リスではなくて。(最初から読み聞かせ) お母さんに言うと「なに寝ぼけてるの。」町を歩いても誰も気にしないけれど、時々いるのです、しっぽや角が生えている人が。最後はこれ。(表紙のしっぽだけ見せる)</p> <p>キツネ…ではありません。なんとお母さん。どうしてお母さんにしっぽが生えたかと言うと。結衣の家は和菓子屋さん。忙しいので洗濯物を干したり、お風呂を洗ったりとお手伝いもたくさん、夕飯も一人で食べて宿題のキツネの民話を読んで寝たら…</p> <p>どれもおもしろいお話ですがどれか1冊、決めてくださいね。1冊読み終えたらあとは好きな本を読んでね。</p>
--	--

資料5 「へえー！なるほど！をどうぞ ホネの不思議」

- 対象 4年 国語 25分
- ねらい

国語で学習した説明文の発展学習として科学読み物を読ませたい。そこでクイズを入れて本を紹介する。今回は特に「ホネ」に関する本を集めた。紹介した本以外の科学読み物も手に取ってもらい、それをPOPにして友達へも紹介させる。そのことで科学読み物の世界を広げさせたい。

3. 展開

紹介する本	ブックトークの展開・ポイント
<p>①『ヒトの親指はエライ！』 山本省三 文 喜多村武 絵 講談社</p> <p>②『動物ふしぎ発見 パンダの手には かくされたひみつがあった！』 山本省三 文</p>	<p>今日は科学の本でへえー！なるほど！そうだったんだ！というホネの不思議を紹介します。</p> <p>ここにボールがあります。持ってみてください。では親指を使わずに持ってください。子どもを前に出させて、本の通り実験をして見せる。親指を使わないと物は持ちにくい事を確認する。</p> <p>クイズ1 クマやイヌは片手でボールを持つことができますでしょうか。</p> <p>クイズ2 見たところクマと同じような手のひらなのに、上手にものをつかめる動物がいます。何でしょう。</p> <p>答え パンダ パンダは竹を指で握って持って食べますね。でもパンダの手</p>

<p>喜多村武 絵 監修 遠藤秀紀 くもん出版</p> <p>③『かこさとし 大自然のふしぎえほん6 モグラのもんだい モグラのもんく』 かこさとし 作 小峰書店</p> <p>④『なるほど動物形態学 クジラも海でおぼれるの?』 加藤由子 著 熊谷さとし 絵 偕成社</p> <p>⑤『ホネホネたんけんたい』 西澤真樹子監修・解説 大西成明 写真 松田素子 文 アリス館</p> <p>⑥『フリズル先生の マジック・スクールバス 恐竜さがし』 ジョアンナ・コール文 ブルース・ディーギン絵 藤田千枝訳 岩波書店</p>	<p>はクマと同じように5本の指が同じ向きについています。 この新聞に載っている遠藤さんの発見だよ。(パンダの7本目の指について、解説と読み聞かせ) パンダ以外にも骨に秘密をもつ動物がいます。モグラの前足にも秘密のホネがあるようです。 (P2の絵を提示)</p> <p>クイズ3 このホネは何のためにあるのでしょうか。 答え 土をかきとる力を強くするために、曲がったホネが別についている。</p> <p>クイズ4 手のホネを広げて空を飛ぶ哺乳類は? 答え コウモリ</p> <p>P70 L17～ 読み聞かせ 親指から小指までの5本指の間に膜が張られているんだって。なるほど!</p> <p>クイズ5 コウモリはさかさにぶら下がっています。ではトイレタイムはどうするの? 答え かぎヅメをひっかけて、頭が上にあるようにする。</p> <p>これが本物のコウモリのホネです。(P22の写真を見せて説明)</p> <p>クイズ6 これは何のホネ? P12・13 答え 恐竜・・・ではなくて、キツネです。</p> <p>恐竜の骨を探しに行ったのがフリズル先生。アメリカの小学生はこんなスクールバスで学校に行ったり、遠足に行ったりするようですよ。今回フリズル先生のクラスがでかけたのは、なんと恐竜の住む世界。</p> <p>フリズル先生のドレスや子どもたちのレポート記事もおもしろいから、じっくり読んでね。</p> <p>さあ、みなさんはどの「ホネ」の本に興味をもったかな。 ぜひ読んでみてね。</p>
---	---

資料6 「環境問題を知ろう、調べよう、取り組もう」

1. 対象 5年(9月) 教科「総合的な学習」 実施予定時間 35分
2. ねらい 総合で取り組む環境について、課題作りと資料提供のためのブックトークである。中テーマに沿って本の紹介をして、その後で、興味ある本を手に取り、小テーマを決定する流れを担当と調整済

みである。今回は冊数が多いのでパスファインダーを資料として配布して、興味ある本に印をつけたり、必要なメモをとったりしながら聞かせたい。

3. 展開

紹介する本	ブックトークの展開・ポイント
<p>1. 地球温暖化 (パスファインダー9)</p> <p>①『地球温暖化、しずみゆく楽園ツバル』 山本敏晴 写真・文 小学館</p> <p>②『ヒートアイランドの虫たち』 藤原幸一 写真・文 あかね書房</p> <p>2. 省エネ・循環 (パスファインダー23)</p> <p>③『エコでござる 江戸に学ぶ1〜3』 石川英輔 著 すずき出版</p> <p>④『省エネの大研究』 山川文子 著 PHP 研究所</p> <p>⑤『風の島へようこそ くりかえしつかえるエネルギー』 アラン・ドラモンドさく まつむらゆりこやく 福音館書店</p> <p>⑥『漁師さんの森づくり 森は海の恋人』 畠山重篤 著 講談社</p> <p>3. リサイクル・ごみ (パスファインダー14)</p> <p>⑦『どろんこサブウ 谷津干潟を守る戦い』 松下竜一文 鈴木まもる絵 講談社</p> <p>⑧『永遠に捨てない服が着たい』 今関信子 著 汐文社</p>	<p>総合で学習する環境問題についての本を紹介します。共通のテーマは「環境問題について調べよう」です。今日はパスファインダーを見ながら、読んでみたい、調べてみたい本に印を付けてください。そこから個人のテーマ(小テーマ)を決めます。</p> <p>環境問題とって一番に思いつくのは地球温暖化やごみ問題でしょうか。題名もそのものずばりの本から紹介します。この「ツバル」では、温暖化のために国の様子が変わり、人々の暮らしが成り立たなくなっています。</p> <p>日本列島が暑くなったために虫の世界にも異変が起きているそうです。(ショウリョウバッタとカブトムシのついて写真を見せ、読み聞かせ)</p> <p>便利な世の中になっているいろいろな問題が起こっている。では、今から 200 年以上昔の江戸時代くらいに戻ればいいかな。</p> <p>今の私たちに出来ること、参考になることが載っています。</p> <p>では日本以外で省エネのために何か工夫があるかという...デンマークのサムス島はエネルギーの島と呼ばれるそうです。風力や農業廃棄物を燃やして熱を得る方法で島の電力をまかなっているそうです。</p> <p>江戸時代はものがうまく回って無駄が少なかったですね。サムス島もゴミを燃やしてエネルギーを得ています。うまく物が回っているね。</p> <p>では、海の牡蠣と森の木にもつながりがあると言ったら意味が分かりますか。</p> <p>教科書にも登場する畠山さん。(教科書を見せる)漁師さんなのに、木を植え続け、たくさん勉強してどうしたらおいしい牡蠣の養殖ができるかを考え続けています。</p> <p>環境問題と言うとゴミ問題も気になります。東京湾の干潟のごみを 1 人で取り続けたサブウの話です。(写真を見せる)</p> <p>本の題名がすごいですね。永遠に捨てない服。全くゴミが出ない訳ですから。どういことでしょう。</p>

4. 林業・土の研究

(パスファインダー23・24)

⑨『みみずのカーロ

シェーファー先生の自然の学校』

今泉みね子 合同出版

⑩『ゾウの森とポテトチップス』

横塚眞己人 写真・文 そうえん社

⑪『クマに森をかえそうよ』

沢田俊子 文 汐文社

⑫『森林はなぜ必要か』

只木良也著 小峰書店

⑬『よみがえれ、えりもの森』

本木洋子 文 高田三郎 イラスト

新日本出版

5. 食料問題

(パスファインダー26)

⑭『News がわかる 2016.5

食品ロスを考える』 毎日新聞社

⑮『世界と日本の食料問題

食料と環境問題』

山崎亮一 著 文研出版

⑯『考えよう！地球環境

身近なことからエコ活動④私たちにできること』

環境情報普及センター 監修

金の星社

6. 外来生物・生物多様性 絶滅危惧種

(パスファインダー25・21)

⑰『外国から来た魚』

松沢陽司 作 フレーベル社

⑱『タマゾン川

多摩川でいのちを考える』

山崎充哲 著 旬報社

⑲『トキよ未来へはばたけ

ニッポニア・ニッポンを守る人たち』

ゴミを土に変えるといえば・・・そう、ミミズです。

ゴミ、土、生き物に関心のある人はぜひどうぞ。シェーファー先生はドイツの先生、ミミズ博士中村好男さんは農業も化学肥料も使わない農業を実践する日本の方です。

漁師の畠山さんは森を守り続けていますが、他にも森が失われて困っている人、動物がいます。ゾウ、クマ、オランウータンたちです。(口絵写真を見せて簡単に紹介)

ゾウから森を奪っているのは私たち、それもポテトチップスだということです。いったいどういうことでしょう。

ではなぜ森林が破壊されると困るのか。この本は、森と人間の関わりや森の仕組みが述べられています。そして森を守るには森を使うことが大事だと訴えます。(p115紹介)

そして破壊された森をよみがえらせた人々もいます。

私たちの身の周りに目を移しましょう。

一昨年『News がわかる』にこんな記事がありました。

食べ過ぎで困っている人と食べるものがなくて困っている人がいます。

今、日本で行われていること、地球で起きていることを知る必要がありますね。

こういう本は全部読むのではなく、目次を見て、自分が知りたい、不思議だなと思うページを開いてみるといいですよ。

外来生物という言葉は聞いたことがありますか。今まで日本にいなかったのに、外国から持ち込まれて数が増えてしまった生き物のことです。

これも今、私たちの近くで起きている問題の一つです。

多摩川では困った問題が起きています。ペットで飼われていた魚が・・・。

困ったというばかりでなく、立ち上がった人もいますよ。

動物の中で、地球上に1匹もいなくなりそうな生きものを絶滅危惧種といいます。日本だと佐渡島のトキが有名です。いなくなってしまった日本のトキを何とか、蘇らせようとする人の話です。

<p>国松俊英 くもん出版</p> <p>⑳『池上彰のニュースに登場する世界の環境問題 6』</p> <p>池上彰 著 さ・え・ら書房</p>	<p>最後に紹介する池上彰さんのシリーズも、今日紹介した様々な事柄が載っています。</p> <p>興味のあるテーマの本を何冊か読んで、自分が調べたい具体的なテーマを見つけ、調べられるといいですね。</p> <p>自分のテーマが決まって調べ始める時は、百科事典や学習年鑑をまず見てください。学習を進めるヒントが載っていますよ。</p>
---	--

資料7 「兄と弟」

	書名	作者	出版社
1	ゴッホの絵本 うずまきぐるぐる 小学館あーとぶっく1 ゴッホ	結城昌子	小学館
2	にいさん	いせひでこ	偕成社
3	たゆたえども沈まず	原田マハ	幻冬舎

資料8 令和2年度版 小学校国語教科書(光村図書出版)

現行教科書との比較

1. 読書活動に関連して

- ①時間数の増加
- ②主体的に読ませる工夫と書く活動→交流の流れ
- ③内容がより具体的に
- ④学校図書館を活用しなければ授業出来ない内容

2. 単元の具体例

《5年生》

- ①「作家で広げるわたしたちの読書」5時間扱い

作家に注目して本を紹介し合う

- ②「この本、おすすめします」7時間扱い

下級生に推薦文を書く

学校図書図書館に展示

《6年生》

- ①「私と本」 5時間扱い **テーマを決めてブックトークする**